

串本町議会一般会議実施報告書

開催日時	令和4年10月6日(木曜日) 9時27分～10時40分
開催場所	オンライン会議 (Zoom 利用)
出席議員	串本町議会 文教厚生常任委員会 委員長 長脊 守 副委員長 島野 靖 委員 北地 稔 委員 沼谷 美次 委員 仲江 孝丸 委員 芝山 定史 串本町議会 議長 鈴木 幸夫
参加者数	13人(議会7人、参加団体6人)
実施内容	(1) 福祉業界における働き方改革(人手不足への対応策等)について (2) 今後の利用者の見通しについて (3) 会員の現状について(推移等) (4) 補助金の活用について
意見等	別紙のとおり
その他	

令和4年12月6日

串本町議会議長 鈴木 幸夫 様

報告者 文教厚生常任委員長
長脊 守

串本町議会一般会議 報告書

団体名	社会福祉法人 串本町社会福祉協議会（会長 堀 登世 外5人）		
開催日	令和4年10月6日（木曜日）	会場	オンライン会議（Zoom 利用）
開始時間	9時 27分	終了時間	10時 40分

テーマ	(1) 福祉業界における働き方改革（人手不足への対応策等）について	
	(2) 今後の利用者の見通しについて	
	(3) 会員の現状について（推移等）	
	(4) 補助金の活用について	
意見交換会でのやりとり	質問・意見	回答
	福祉関係の現場で働く人の賃金が低いと言われていたが、働く人の意欲を高めるために賃金をある程度上げることはできないか。	国の施策の処遇改善手当等、以前に比べるとかなり優遇はされてきており、離職率をできるだけ減らすために、経営に支障のない範囲で人件費も上げている。
	この職種の離職率が高い原因の中に、利用者からのハラスメントが一番の原因としてあるのではないかと思うが、社会福祉協議会で利用者からのハラスメントはないか。	少しはあるが、暴言やハラスメントがあった時には担当を変える等の工夫をしながらフォローしている。
	仕事量と時給のバランスについてどう考えているか。 資格だけではなく、日ごろの仕事内容や人物評価を加えて総合的に判断してほしい。	毎年職員に対する評価を行なっている。資格を重視しているが、もちろん仕事ぶりに関する評価等の項目も設けており、職員のモチベーションができるだけ上がるようにしている。
串本町の高齢者福祉の現状をどのように捉えているのか、何が問題かというのがあれば教えてほしい。 また、今後どういった問題が予測されるのか。	高齢者福祉の問題として、高齢者の3大困り事というのが、買い物・食事・通院だと思っている。 その中で介護タクシー等をするとところがなくなくなってきているのが大きな問題。 社協としてもデイサービスやヘルパーの職員と兼務して介護タクシーをしているが、串本町は地域が広く、人材不足も顕著になってきたことから、規模を縮小せざるを得なくなっている。 そのため、介護タクシーを使いたくても使えないという状況が生まれてきている問題を、今後どういうふうで解消していくか。これは事業所だけでは無理なので、行政としても、保険者でもありますから考えていただく必要があると思う。	
	もう一つ、配食サービスについて。 ヘルパーが思うように受けられない、またデイサービスがいっぱい受けられない場合、食事だけでも確保すれば何とか生活できるという方は多いと思うが、配食サービ	

		<p>スもキャバがあり、制度やスペース的にも1回に100食というのが限度。今、役場からそういう要望があがってきても断っている状況。</p> <p>配食サービスを受けたくても受けられず、食事が確保できない。介護食が必要というのもあり、毎日の食事を普通の弁当屋や大型店舗で買い続けることもなかなか難しい。</p>
		<p>また、なかなか買い物に行けない。コミュニティバスはあるが、バス停まで行けない人もいるので、そういう方をどうするか。買い物支援とかも今後、高齢者福祉を考えるとときには必要になってくるのではないかと考えている。</p>
<p>社協の会員が減ってきている現状について、住民意識もあるが、同時に社協のほうで会費は納めてくれるものだという体質になっていないか。</p>		<p>これまでは福祉委員会を開催して、説明や意見交換、会費や使途についても説明していたが、コロナの影響で、2年ほど福祉委員会が開催できていない。そのあたりは今後努力していきたい。</p>
<p>会費は金額よりも口数が大事であり、500円にし、それで口数を増やすということも必要ではないか。</p> <p>多くの会員を集めることによって社協が町民に信頼される組織であり続けることができる、そういう観点で論議した上で福祉委員に対しても毎年きちんと集めて、状況を話して、ご苦労さまですけれども今年も集めるのを協力してください、という手続が必要ではないか。</p>		<p>社協として、皆さん寄附というふうに捉えている節もあつたりしますが、社協の会費はあくまでも寄附ではなく、もちろん強制でもないが、社協の活動に協力いただけるという方に会員になっていただいて、会費を払っていただくという部分が芯かなと思うので、社協の活動にまずご理解いただくというところから基本に立ち返って取り組んでいきたいと思っている。</p>
<p>一般会議は初めてということもあり、双方が慣れてないが、回を重ねるにつれて、もっと双方のざっくばらんな意見交換ができていくかと思っている。</p>		<p>今、本当にどん詰まりのような状況になっているので、そういうご意見をいろんな人からいただきたい。打開策は、どこからでも得ていきたいと思っている。</p>
<p>補助金は、どのように活用されているか。</p>		<p>毎年、福祉課へ地域福祉の関係予算ということで補助金の申請を提出しており、申請額の約6割にあたる2,400万円が交付されている。</p> <p>その補助金をもとに地域福祉事業を全般的に行っている事務局の人件費の8割分に活用している状況。</p>